

宇土市で「一日パン屋」

知的障害者作業所が出店

知的障害者が通う下益城郡富合町杉島の「なすな工房」(村上佳代代表)は十日、宇土市善道寺町のショッピングセンター・宇土シティで「一日パン屋さん」を開いた。同工房は今年四月、熊本市の福祉施設に勤めていた村上代表(三)が「障害者が地域で暮らせる場所を作りたい」と自宅に開設した無認可の小規模作業所。同市と天草郡大矢野町から二人の利用者が通うほか、松橋西養護学校などから実習生も受け入れてパン作りを中心に「さ(さ)り織」や絵画などの活動をしている。

「一日パン屋さん」は宇土シティが食品ゾーンの売り場を無償提供し、初めて実現した。この日は、同工房で焼いたあんパンやピザパン、豆入りパンなど十二種類約六百個を一個百円で販売。主婦らが足を止め、買い求めている。村上さんは「一個百円は原価ぎりぎりだが、自分たちで焼いたパンが売れ、自分たちの給料になることを知ることが利用者への励みになる」と話していた。

「一日パン屋さん」は